

学生寮給食における異物混入について(ご報告)

(掲載文 1月23日)

学校長 太田道也

昨年12月に発生しました学生寮給食における異物(金属片)混入については、食事提供業務を委託しているシダックスフードサービス株式会社へ原因等の調査を依頼しておりました。

しかしながら、異物が混入したと思われる食材のメーカーからの報告では、異物(金属片)の成分分析の結果などから混入した経路の特定には至りませんでした。

また、事案発生後の12月12日(火)には、庄内保健所生活衛生課による学生寮の食堂・厨房への立入調査を受検しましたが、この調査においても原因は特定されませんでした。

現在、保健所から指導いただいた改善点や再発防止に向けた助言に基づき、シダックスフードサービス株式会社と学校側とで協議の上、次の点について取り組んでおります。

1. 調理員が厨房入場時前に制服に粘着ローラーを掛けた後、複数の調理員で制服への付着物がないか確認を徹底しております。
2. 調理準備時に、複数の調理員で食材及び調理器具への混入物がないか目視による確認を徹底しております。
3. 下処理後の食材すべてに対して、金属探知機を通して混入物がないか確認を徹底しております。
4. シダックスフードサービス株式会社品質管理部による定期的な現場視察を行い、作業工程の確認及び調理器具の破損や劣化箇所の点検を徹底しております。
5. 保健所による立入調査では、混入した異物(金属片)と同様の材質や形状の調理器具等において欠損等はありませんでした。しかしながら、経年使用による損傷や劣化等が考えられることから、定期的な器具等の更新を推進しております。
6. シダックスフードサービス株式会社において、調理員等への社内教育を充実させ、異物混入に限らず、細菌・ウイルスによる食中毒など食に関する事故が起きることのないよう指導を徹底しております。

7. 食材メーカーにおいては、食材の製造年月日の確認を徹底すると共に、当面の間は、異物(金属片)が混入した食材の納入を控え、他メーカーの類似品で代用しております。
8. 厨房及び食堂の老朽化がインシデント発生に起因することが考えられるため、施設の改修等の検討を加速化しております。

このたびは、寮生及び保護者をはじめ関係のみなさまに、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

日頃から委託業者と連携し、より一層の対策を講じて、安心・安全な食事の提供に努めてまいります。